

地域づくり健康診断報告会について

平成18年8月30日にパレットとっとりにおいて開催された「地域づくり健康診断報告会」の主な内容は、次のとおりです。

報告会の内容

●全体

- ・全国のデータと鳥取都市圏のデータの比較による分析が行われ、課題問題点が指摘された。
- ・ほとんどの主要都市では高速道路があるのが当たり前であり、ようやく最後に県庁所在地の鳥取にも高速道路ができた。
- ・高速道路が出来たからといって、すべてバラ色ではない。他都市圏の現状をデータで紹介。

●人口

- ・人口分析によると鳥取都市圏には、団塊の世代が全国より少ない。
- ・鳥取都市圏の高齢化はピークを過ぎ、今後の高齢化は全国より緩い。
- ・交通体系が整備されると人が他地域に流出していく傾向にある。

●農林水産業

- ・鳥取都市圏では、農林漁業従事者が全国より減少が大きくて、農業については、高齢化が著しく、後継者の育成が必要。漁業については、そうではない。
- ・20世紀梨の出荷額が年々減少している。PR、ブランド化、販売戦略が必要。

●工業

- ・製造品出荷額が増え工業が栄えても人口は増加しない。それは、製造業を中心とする鳥取都市圏だけでなく、全国的にみて、退職者の補充を減らしスリム化することで企業の体質強化をしており、企業誘致をしてようやく現状の雇用の確保程度にとどまっている。
- ・鳥取都市圏では、中国道が開通した時点で高速道路から1時間圏内の地域として今日まできており、高速道路が開通しても影響はあまりないのでは。

●商業

- ・市民の所得は下がり、商品販売額が下がっている。これは、定年退職が新卒者を上回り、所得が低下している影響である。
- ・商店を増やすと、ある一定の時点を過ぎると、販売額が下がっていく。商店、店舗面積を増やすと販売額が増えるものではない。低価格競争により販売額が低下する。
- ・郊外大型店が増えれば、郊外の大型店に影響があり、中心市街地の店は減ることはない。

- ・他地域からの購買客を増やすことが大事である。

●観光

- ・観光に対するデータがあまりにもない。データ分析をするためには、統計データが必要であるのでその対策が必要。
- ・高速道路ができたからといって、一時的には増加するがそれを維持していくことが大切。
- ・全国的にみて、観光客数と高速道路の有無は関係がない。

●診断により抽出された地域課題

姫鳥線のインパクト

- ・先行事例では、企業誘致=△ 観光=一時的には「○」であるがその後「×」へ、大都市への購買力流出=△ or ×であり、大型店と中心市街地商店との総合力が大切。
- ・企業誘致は元々進んでいるおり、逆に購買力流出は加速する可能性が大。関西圏から、観光集客をいかに進め、購買力をいかに取り返せるかが課題。

ものづくりと農業

- ・雇用は微減、新規企業はあるが中小企業同士が連携して伸びていくまでには至っていない。
- ・農業の担い手不足、ブランド化の努力不足で衰退傾向にある。

商業と中心市街地

- ・商業は郊外大型店の進出によりオーバーストア、売上、雇用も減少傾向。
- ・中心市街地の高齢化・空洞化が進展

観光

- ・観光は、資源は豊富であるが、魅力づくりへの盛り上がりには欠け、統計の未整備。

●課題に対処するには

- ・タテ割りではなく、ヨコの連携をする。
- ・若者と女性の新規創造パワーを活かす。

※地域に住んでいる人の「個人の顔」がもっと見えることで、情報を全国発信し、都会人が鳥取市に感じる魅力も増していく。(都市の顔である中心市街地の活性化が重要)

地域づくり健康診断報告会について

平成18年8月30日にパレットとっとりにおいて開催された「地域づくり健康診断報告会」の主な内容について

1. 報告会の内容 (13:30~15:45)

●全体

- ・全国のデータと鳥取都市圏のデータの比較による分析が行われ、課題問題点が指摘された。
- ・ほとんどの主要都市では高速道路があるのが当たり前であり、ようやく最後に県庁所在地の鳥取にも高速道路ができた。
- ・高速道路が出来たからといって、すべてバラ色ではない。他都市圏の現状をデータで紹介。

●人口

- ・人口分析によると鳥取都市圏には、団塊の世代が全国より少ない。
- ・鳥取都市圏の高齢化はピークを過ぎ、今後の高齢化は全国より緩い。
- ・交通体系が整備されると人が他地域に流出していく傾向にある。

●農林水産業

- ・鳥取都市圏では、農林漁業従事者が全国より減少が大きくて、農業については、高齢化が著しく、後継者の育成が必要。漁業については、そうではない。
- ・20世紀梨の出荷額が年々減少している。PR、ブランド化、販売戦略が必要。

●工業

- ・製造品出荷額が増え工業が栄えても人口は増加しない。それは、製造業を中心とする鳥取都市圏だけでなく、全国的にみて、退職者の補充を減らしスリム化することで企業の体質強化をしており、企業誘致をしてようやく現状の雇用の確保程度にとどまっている。
- ・鳥取都市圏では、中国道が開通した時点で高速道路から1時間圏内の地域として今日までできており、高速道路が開通しても影響はあまりないのでは。

●商業

- ・市民の所得は下がり、商品販売額が下がっている。これは、定年退職が新卒者を上回り、所得が低下している影響である。
- ・商店を増やすと、ある一定の時点を過ぎると、販売額が下がっていく。商店、店舗面積を増やすと販売額が増えるものではない。低価格競争により販売額が低下する。
- ・郊外大型店が増えれば、郊外の大型店に影響があり、中心市街地の店は減ることはない。
- ・他地域からの購買客を増やすことが大事である。

●観光

- ・観光に対するデータがあまりにもない。データ分析をするためには、統計データが必要であるのでその対策が必要。

- ・高速道路ができたからといって、一時的には増加するがそれを維持していくことが大切。
- ・全国的にみて、観光客数と高速道路の有無は関係がない。

●診断により抽出された地域課題

姫鳥線のインパクト

- ・先行事例では、企業誘致=△ 観光=一時的には「○」であるがその後「×」へ、大都市への購買力流出=△ or ×であり、大型店と中心市街地商店との総合力が大切。
- ・企業誘致は元々進んでいるおり、逆に購買力流出は加速する可能性が大。関西圏から、観光集客をいかに進め、購買力をいかに取り返せるかが課題。

ものづくりと農業

- ・雇用は微減、新規企業はあるが中小企業同士が連携して伸びていくまでには至っていない。
- ・農業の担い手不足、ブランド化の努力不足で衰退傾向にある。

商業と中心市街地

- ・商業は郊外大型店の進出によりオーバーストア、売上、雇用も減少傾向。
- ・中心市街地の高齢化・空洞化が進展

観光

- ・観光は、資源は豊富であるが、魅力づくりへの盛り上がりには欠け、統計の未整備。

●課題に対処するには

- ・タテ割りではなく、ヨコの連携をする。
- ・若者と女性の新規創造パワーを活かす。

※地域に住んでいる人の「個人の顔」がもっと見えることで、情報を全国発信し、都会人が鳥取市に感じる魅力も増していく。(都市の顔である中心市街地の活性化が重要)

2. 企画推進部との意見交換会 (主な意見) (16:00~17:00)

- ・観光などは、「おもてなし」が大切。現実を認識し、それに対する策を練ること。
- ・すべて公平に扱うのではなく、地域のどこのどのような施設、店、自然がお勧めなのかを見定め、そこで頑張っている人の支援を行政はする必要がある。
- ・財政面からみて、病院や特者を増やすのではなく、元気な人を増やすことが大切。
- ・今日の報告会のデータは例外ではなく現実であり、この他のいろいろな数字を見て対策を練ることが大切である。
- ・高速道路ができて何もしないのではマイナスとなり、何かをやらうとしないとバラ色とはならない。
- ・高速道路の開通に対する先入観を捨て、他都市の現実を見ること。

出席者：市側 津村部長、羽場次長、大田補佐、中原主任、岡部参事、永井係長、土橋参事、秋田室長、河原スタッフ、谷村スタッフ、松本研究員
銀行側 藻谷、大西、鎌田、鈴木、堀江

地域づくり健康診断 (鳥取県鳥取市)



2006年8月30日(水)

日本政策投資銀行 地域企画部・松江事務所

本日の内容

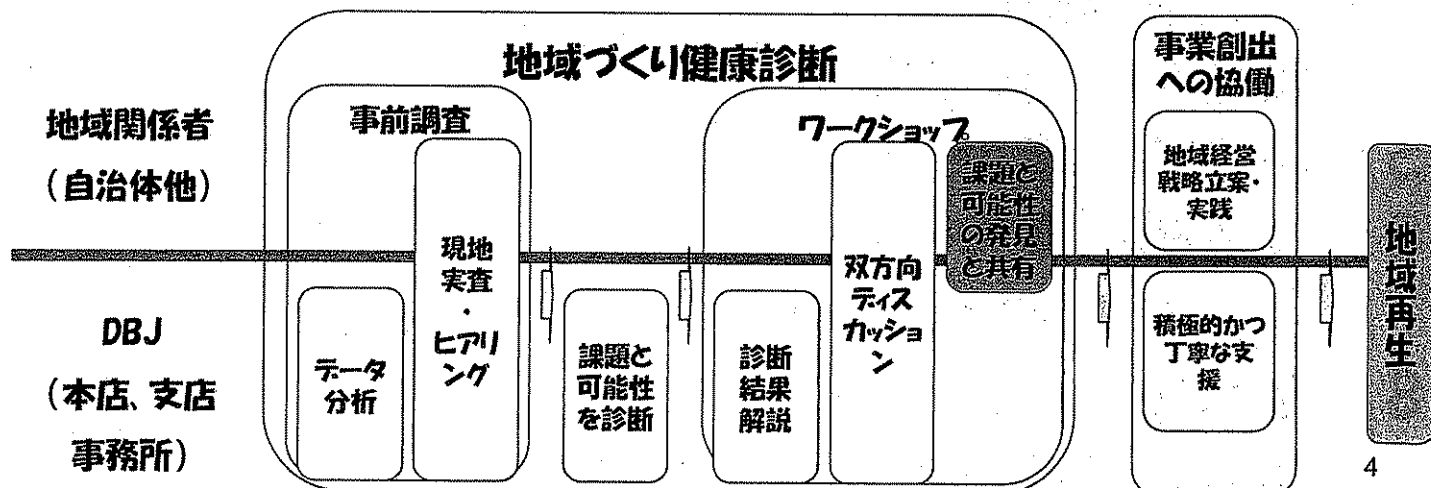
0. 地域づくり健康診断とは？
1. 都市圏構造【鳥取都市圏】
2. 鳥取都市圏の人口・雇用動態
3. 鳥取都市圏の農業
4. 鳥取都市圏の工業
5. 鳥取都市圏の商業
6. 鳥取都市圏の観光
7. 鳥取市の市街地集積
8. 鳥取市の財政
9. 診断により抽出された地域課題

「地域づくり健康診断」とは

1. DBJ地域診断チームが、予め公表データなどから把握しうる地域の現状分析をもとに、現地取材情報を加え、独自の分析による地域の診断結果を解説します。
2. 診断結果についての地域の皆様とのディスカッションを通して、地域の課題と可能性を地域の皆様自身に発見していただくことで、今後の地域の方向性を考える“機会”を提供するプログラムです。
3. 地域の課題と可能性に対する地域の皆様の認識共通化を図り、これを踏まえた“次の”行動(プロジェクト創出等)を起こす契機としていただきたいと思います。

地域づくり健康診断のイメージ

- ・ 地域づくり健康診断は、DBJと地域関係者(含む自治体、民間企業、まちづくり団体など)の共同作業です。
- ・ 地域における課題と可能性の認識共通化が最大の目標であり、地域再生への第一歩となります。



代表的な地域分析内容（例）

- **人口動態**
単なる人口増減ではなく自然増減と社会増減に分解し問題点を分析
- **成長力比較**
雇用増減と人口流出入の観点から都市圏の成長力を分析
- **年齢別人口構成（2000年と2020年の比較）**
高齢者、生産年齢人口、若者世代の増減など人口の中身の変化を分析
- **中心市街地の人口動態**
中心市街地10k㎡への昼夜間の人口集積状況を分析（メッシュ分析）
- **高齢化の加速度**
2000～2020年の70歳以上人口比較から今後の高齢化インパクトを分析
- **小売商業の競合状態**
都市圏人口一人当たり売場面積と坪効率から商業の競合状態を分析
- **各産業就業者の年齢別人口構成**
就業人口年齢構成から各産業の強み・弱み及び将来像を分析

地域関係者の先入観と異なる

地域分析を貫く3つの視点

地域づくり健康診断では下記の視点から地域関係者の先入観とは異なる地域の実態を明らかにします。

地域づくり健康診断「診断書」




都市圏※単位で地域を分析。
自治体単体の統計情報では分からない地域の真の実力を把握。

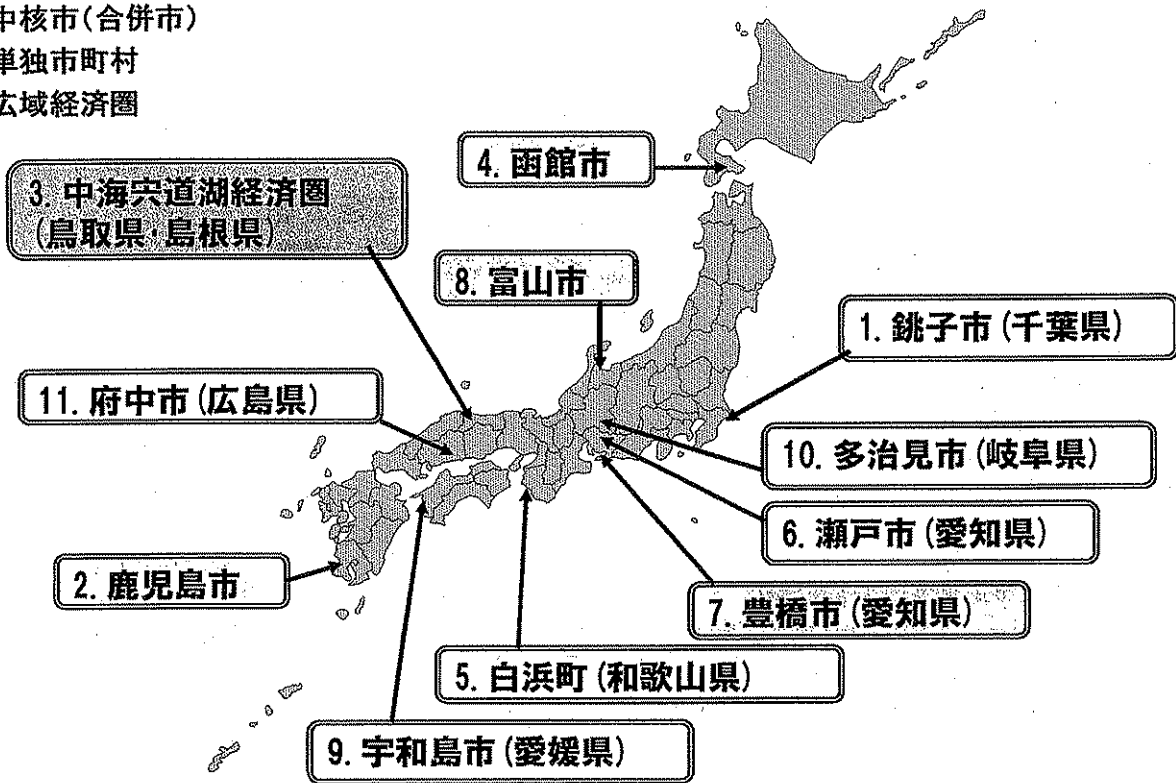
数字・データの活用
複数の統計を独自に組合せて問題点を単純・明快に指摘。

地域のポジション明示
他地域・全国平均との比較により地域の真の実力明示。

※ 都市圏：2000年国勢調査による10%通勤通学圏—中心市に通勤通学している住民の比率が高い市町村を合算したもの（一部2005. 10. 1時点の市町村区分採用）

これまでの診断実績

-  中核市(合併市)
-  単独市町村
-  広域経済圏



7




データで見る鳥取県の概況

まずは、地元を再確認・・・


人口

○ 2005年人口 (住民基本台帳人口要覧)
鳥取県 610,434人(全国47位)
<全国127,055,025人>


○ 人口構成 (2000年国勢調査ベース) 


- 65歳以上 22.0%(全国7位) <全国17.3%>
- 15~64歳 62.6%(全国43位) <全国67.9%>
- 15歳未満 15.3%(全国15位) <全国14.6%>


地場産業ランキング


二十世紀梨収穫量(04年) 全国1位 

※日本なし全体では全国3位

かに類水揚げ量(03年) 全国2位 

すいか収穫量(04年) 全国5位 

ねぎ収穫量(04年) 全国8位 

ブロッコリー収穫量(04年) 全国9位 

就業者数



○ 2000年国勢調査ベース

- 第1次産業 11.5%(全国7位) <全国5.0%>
- 第2次産業 29.7%(全国22位) <全国29.5%>
- 第3次産業 58.3%(全国32位) <全国64.3%>

産業

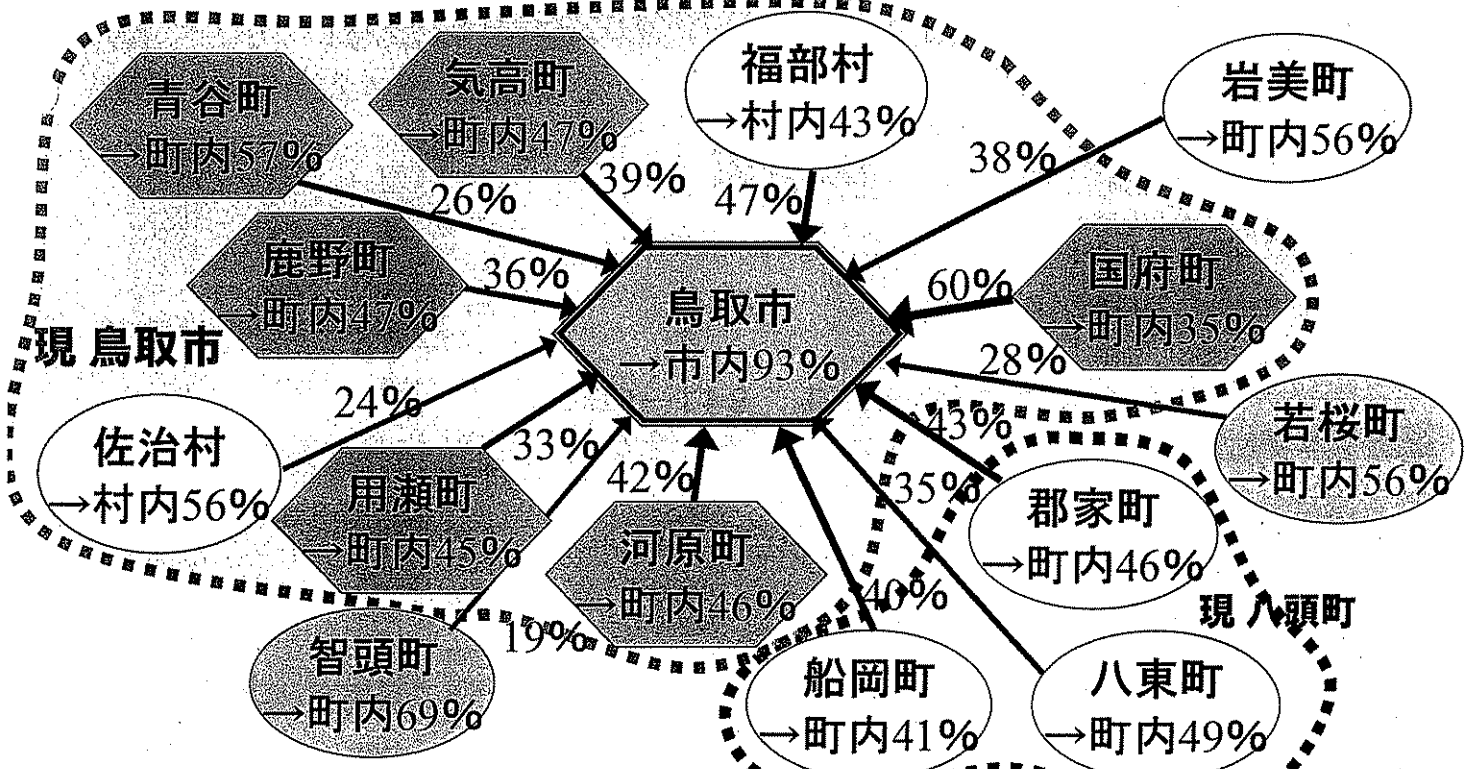
- 農業産出額 (2003年農林水産統計)
703億円(全国41位)
1人当たり114千円(全国17位)
- 製造品出荷額等 (2003年工業統計)
10,878億円(全国44位)
1人当たり1,766千円(全国31位)
- 小売業年間販売額 (2004年商業統計)
647,755百万円(全国47位)
1人当たり1,053千円(全国14位)

1. 都市圏構造

【鳥取都市圏】

鳥取都市圏の構成メンバー

～通勤通学率による結びつきの程度～ 平成合併前



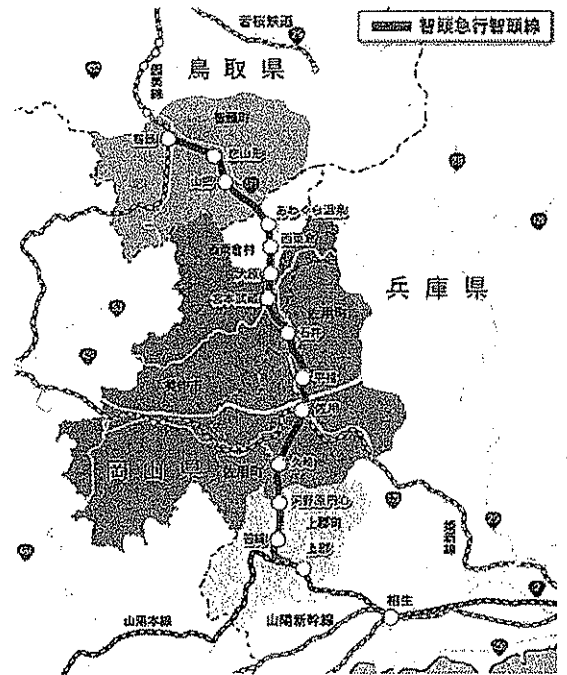
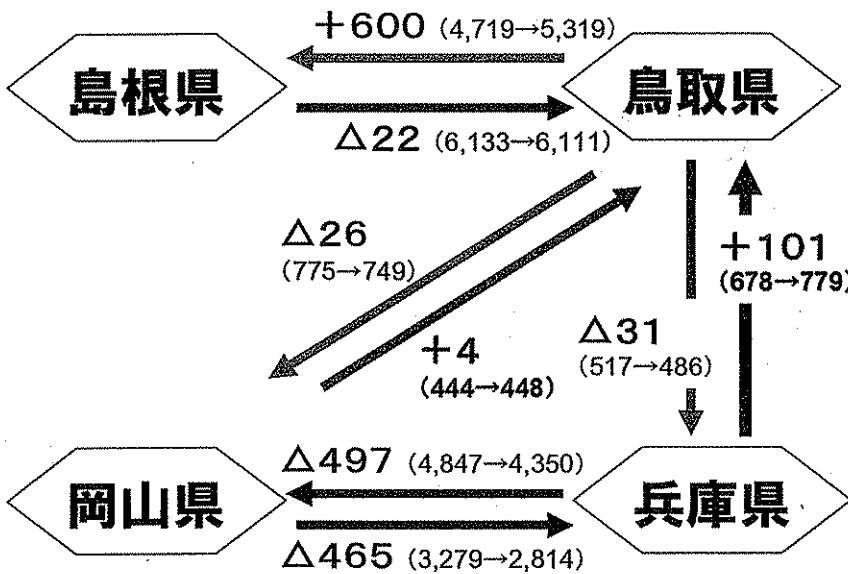
各市町村に住む就労者（自営含む）と学生（15歳以上）の何%が、どこに通勤通学しているか

鳥取市からの通勤通学は最大の岩美町で1%

智頭急行の開業効果①

県境を越えた通勤・通学の実態

94年12月開業以降、兵庫（岡山）→鳥取の流れは増加



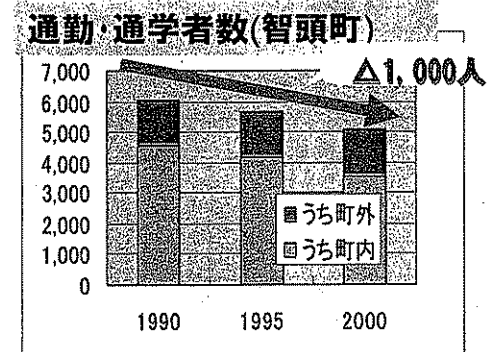
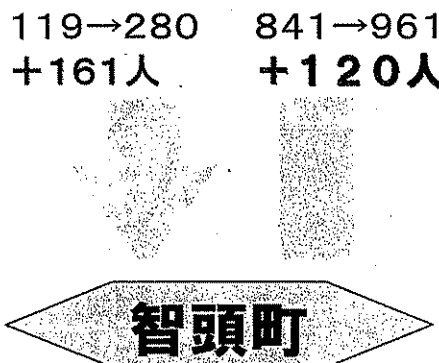
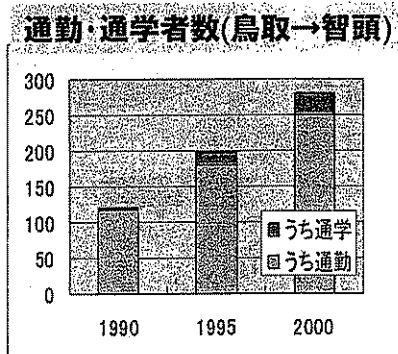
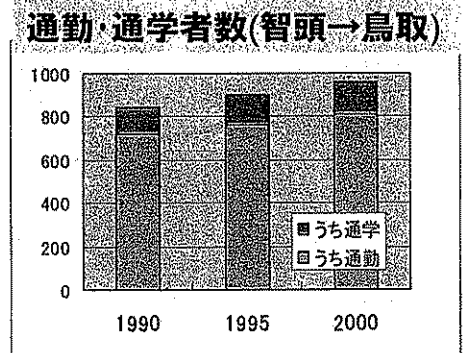
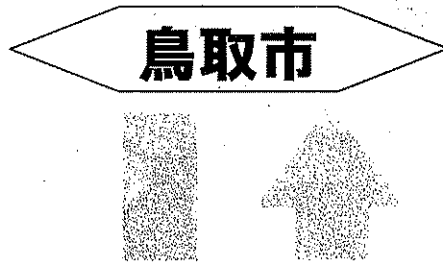
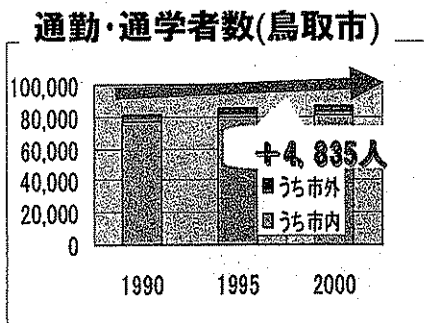
資料：国勢調査報告(95-00年)

資料：智頭急行HP

智頭急行の開業効果②

県内（鳥取市・智頭町）の通勤・通学の実態

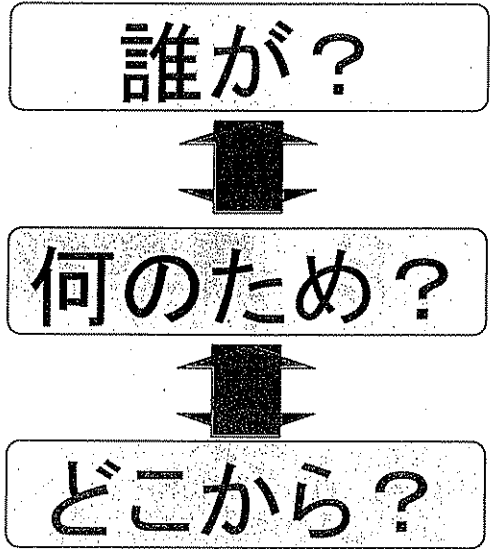
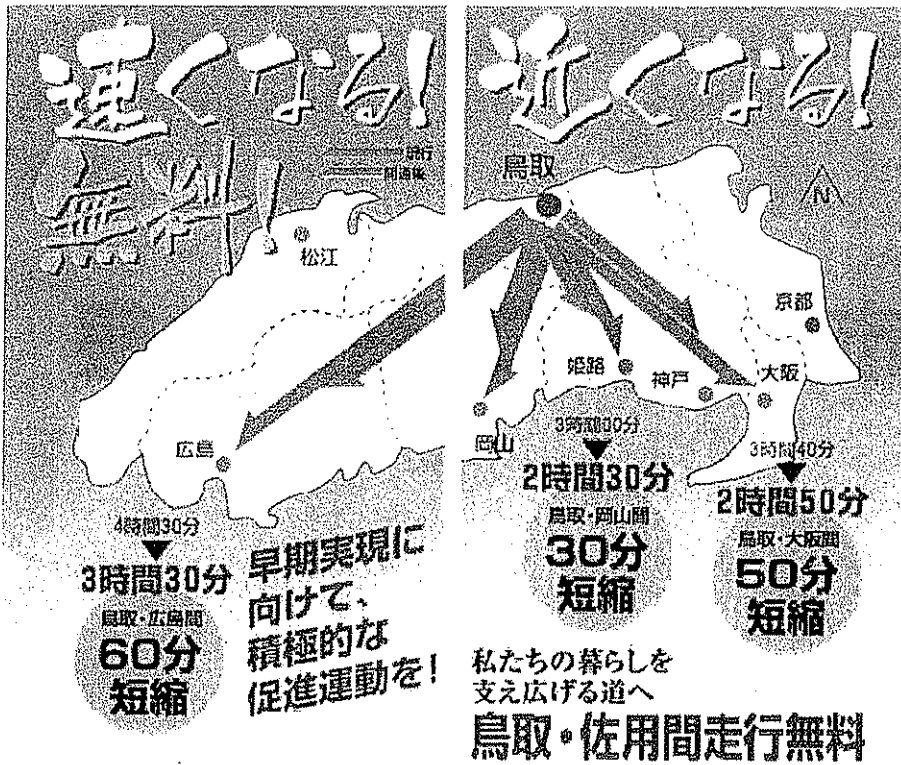
10年で智頭→鳥取は120人増（同期間の智頭の総数1000人減）



資料：国勢調査報告(95-00年)

姫鳥線開業効果①

智頭急行 VS 姫鳥線（利用者は？利用目的は？）

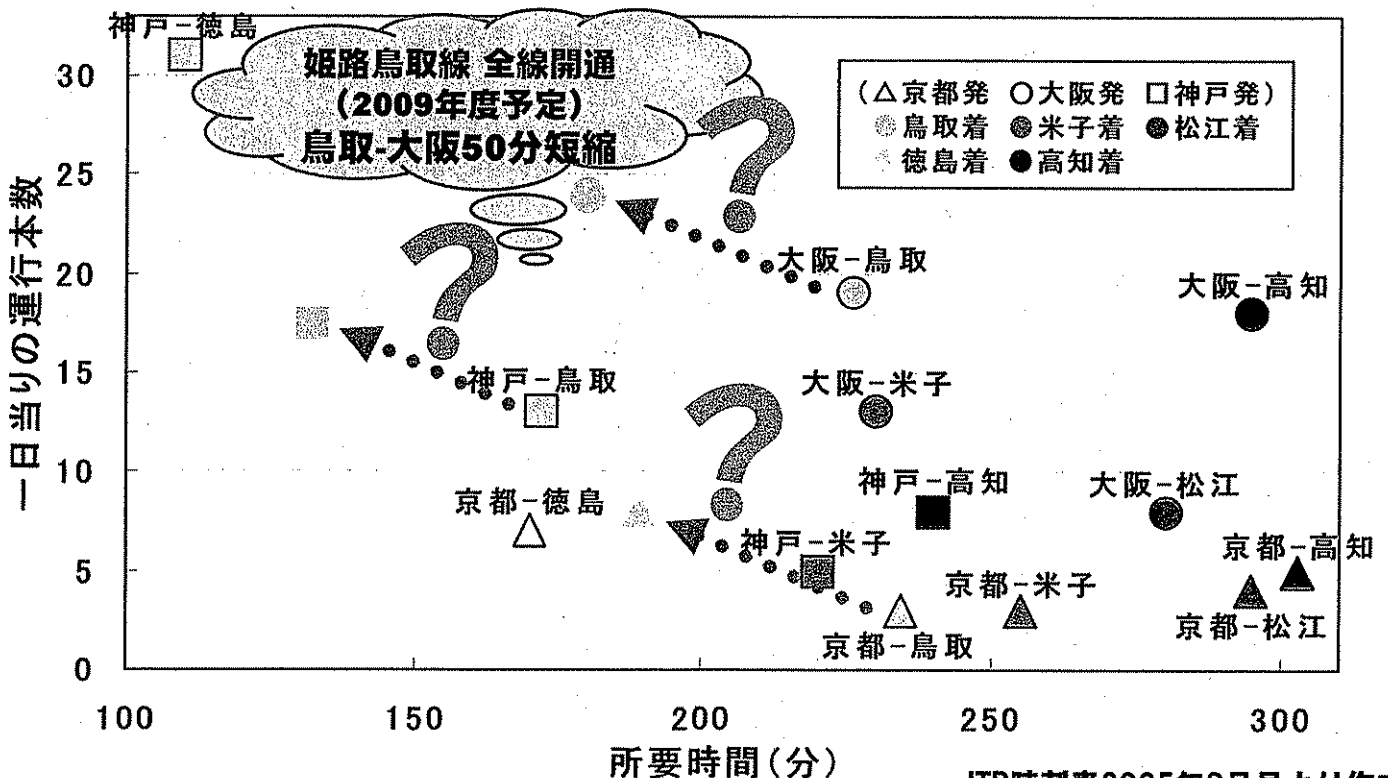


資料：中国横断自動車道姫路鳥取線（佐用～鳥取間）建設促進期成同盟会パンフレット

姫鳥線開業効果②(高速バス運行状況)

山陰・四国主要都市と関西三都市を結ぶ路線数

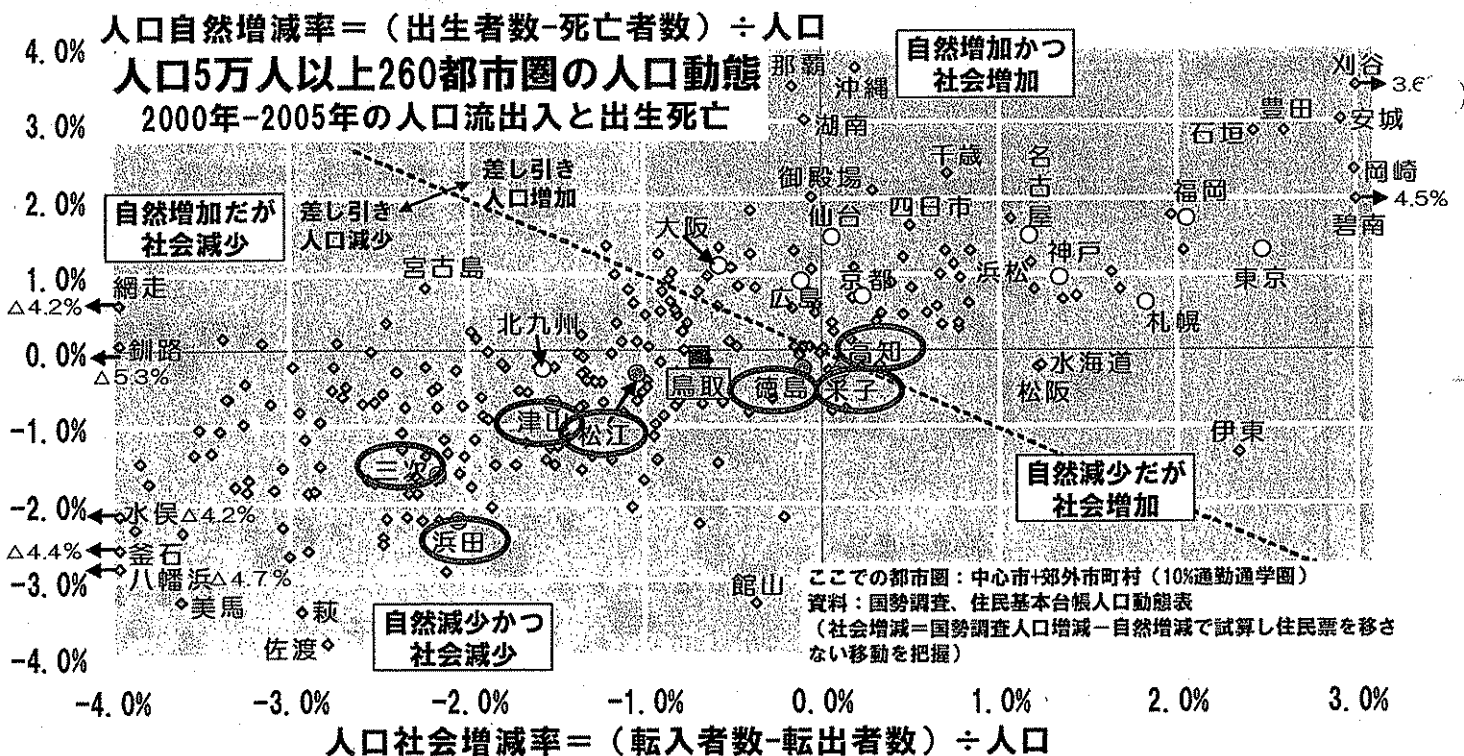
大阪-徳島(150分、47本/日)



2. 鳥取都市圏の人口・雇用動態

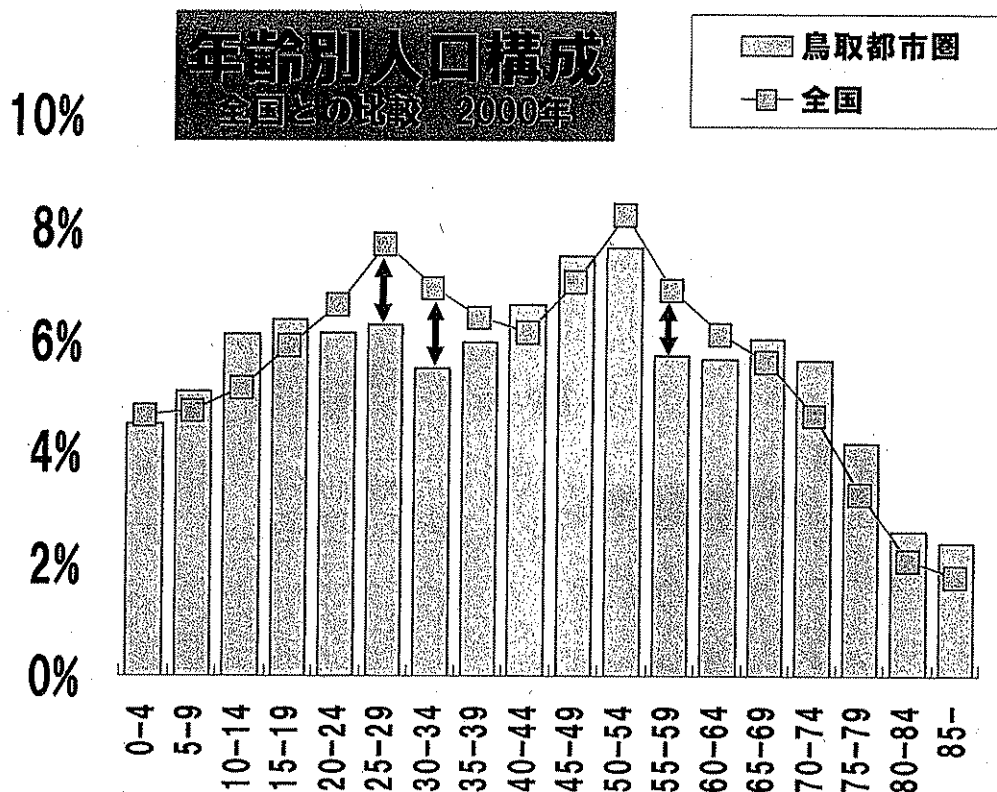
主要都市圏最新(5年間)の人口動態

ここでの都市圏：中心市 + 周辺市町村 (2000年国勢調査に基づく10%通勤通学圏) - 05.10.1現在



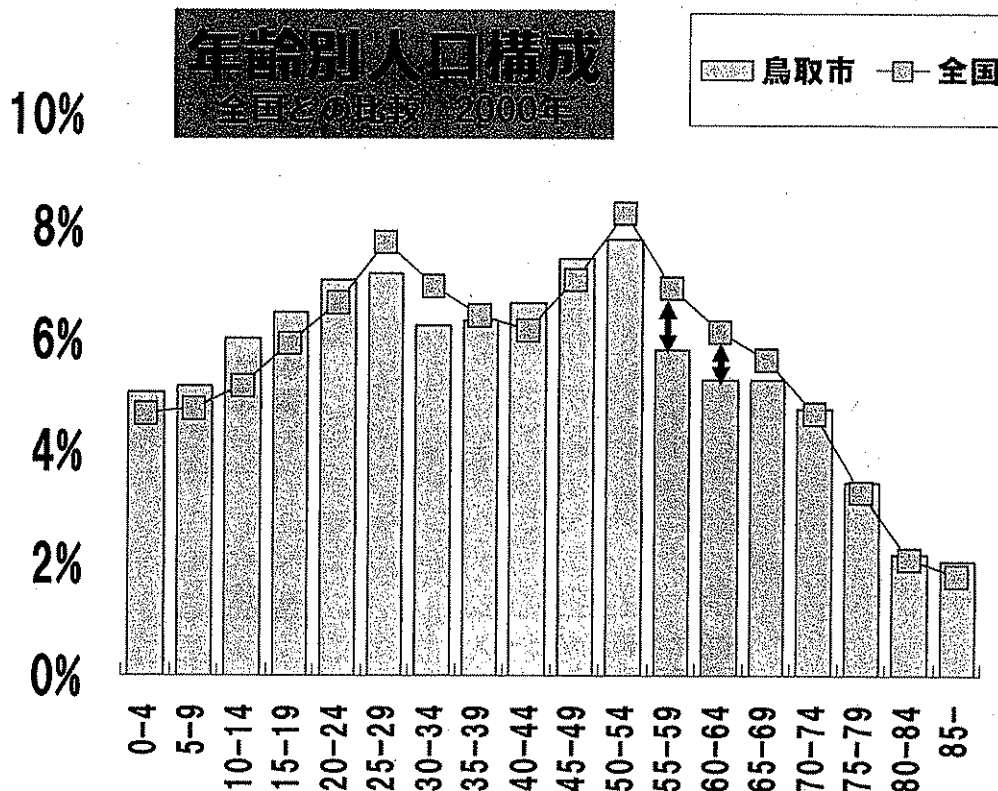
このスライドだけは、2005.10.1時点の市町村区分を使用

鳥取都市圏の人口動態



鳥取都市圏：鳥取市、岩美町、八頭町、若桜町、智頭町（現在の市町村区分）

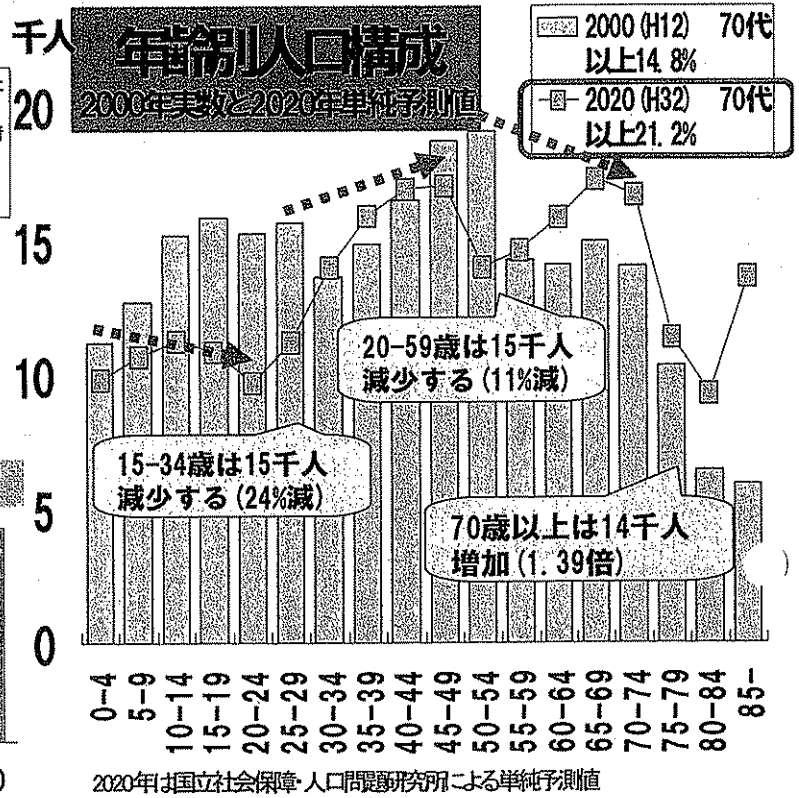
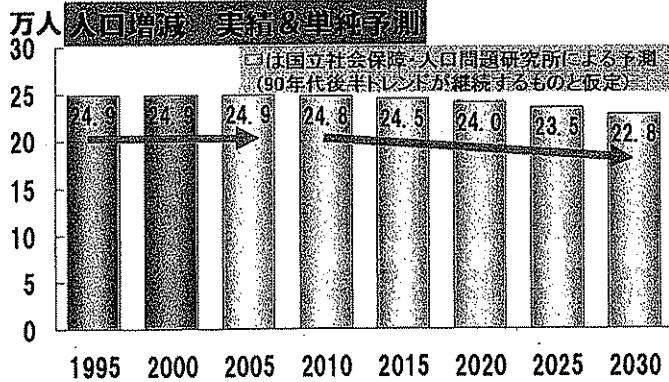
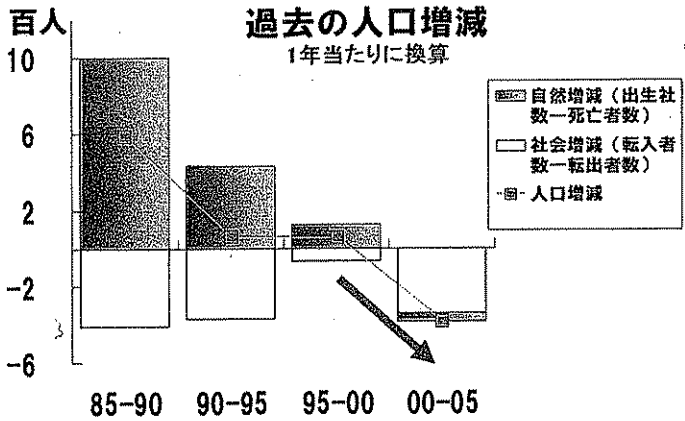
鳥取市の人口動態



鳥取市 = 鳥取市、国府町、福部村、河原町、用瀬町、佐治町、気高町、鹿野町、青谷町（2000年時点）

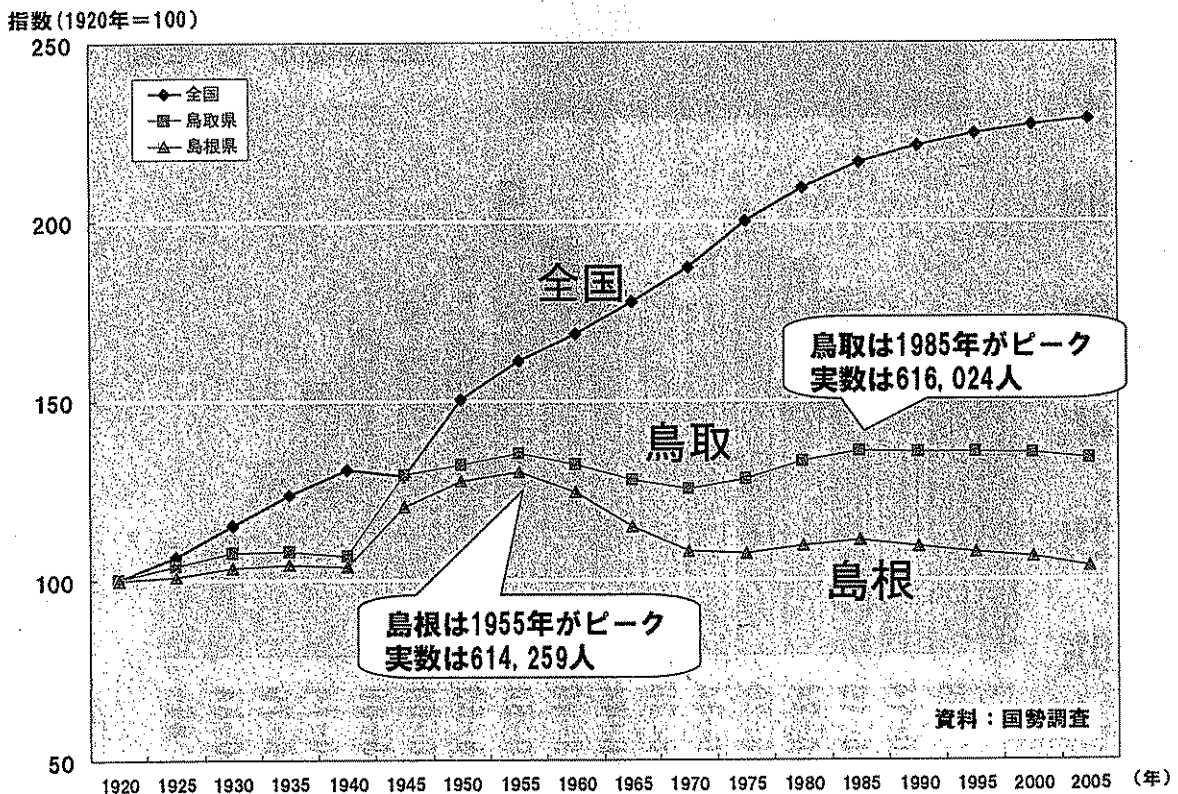
鳥取都市圏の人口動態 将来予測

(90年代後半の転出入のトレンドが続くと仮定したコーホート予測)



鳥取県と島根県の人口動向

鳥取県と島根県と全国の長期人口推移

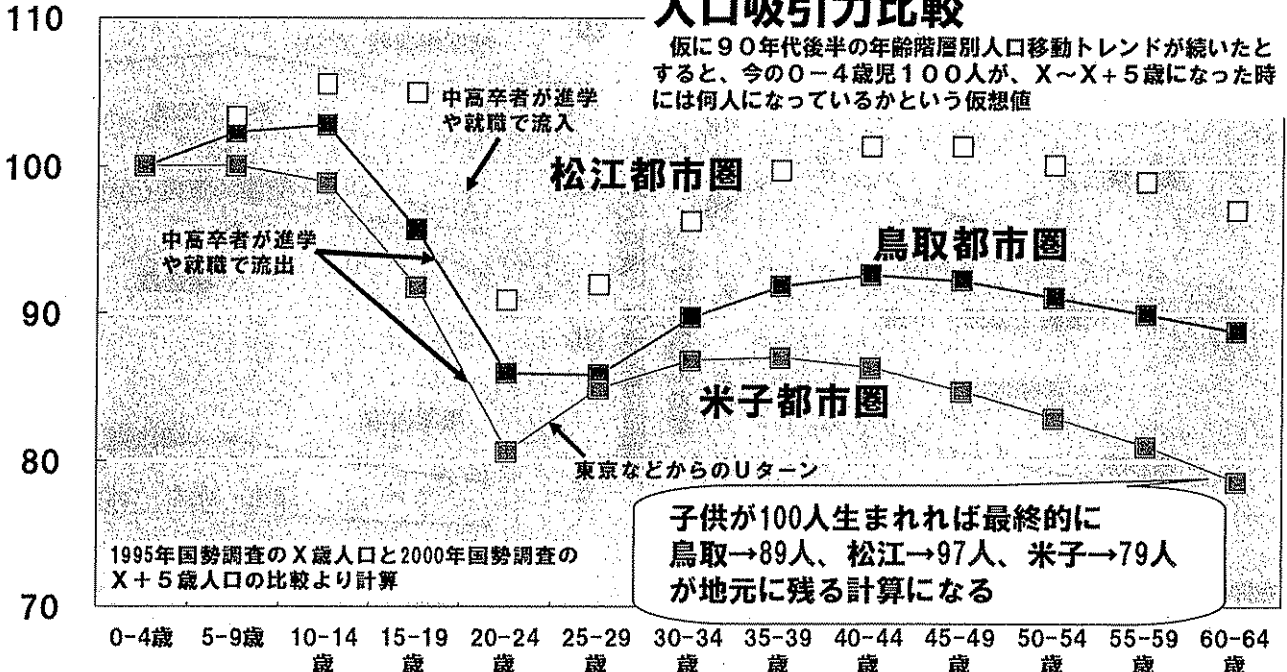


鳥取都市圏の人口吸引力

指数(0-4歳人口=100人)

鳥取・松江・米子都市圏 人口吸引力比較

仮に90年代後半の年齢階層別人口移動トレンドが続いたとすると、今の0-4歳児100人が、X~X+5歳になった時には何人になっているかという仮想値



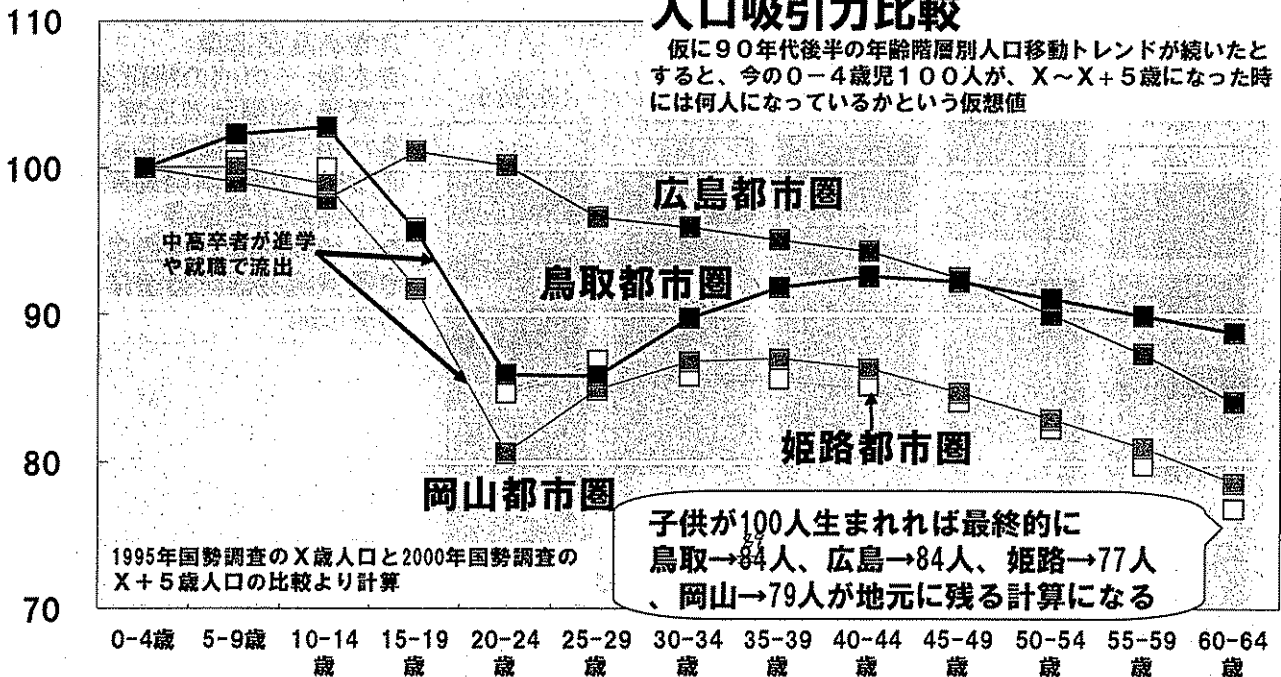
鳥取都市圏=鳥取市、国府町、福部村、河原町、用瀬町、佐治町、筑富町、鹿野町、齊谷町、岩美町、郡家町、船岡町、八東町、若桜町、智頭町
松江都市圏=松江市、安来市、平田市、鹿島町、島根町、美保関町、東出雲町、八雲村、玉湯町、宍道町、八束町、大東町、加茂町
米子都市圏=米子市、境港市、西伯町、会見町、岸本町、日吉津村、淀江町、大山町、名和町、中山町、日野町、江府町、溝口町、伯太町
(1995年、2000年国勢調査)

山陽の都市圏との比較

指数(0-4歳人口=100人)

鳥取・広島・姫路・岡山都市圏 人口吸引力比較

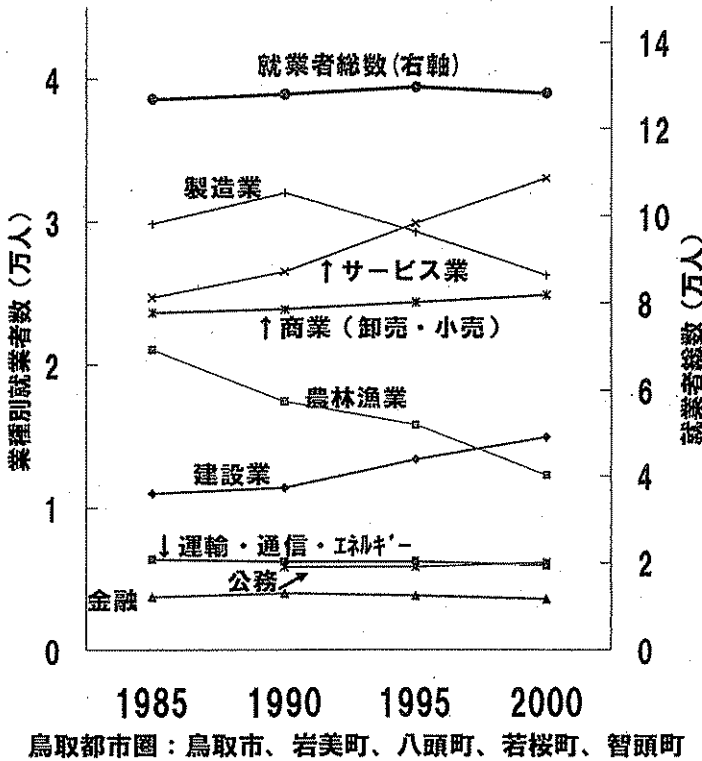
仮に90年代後半の年齢階層別人口移動トレンドが続いたとすると、今の0-4歳児100人が、X~X+5歳になった時には何人になっているかという仮想値



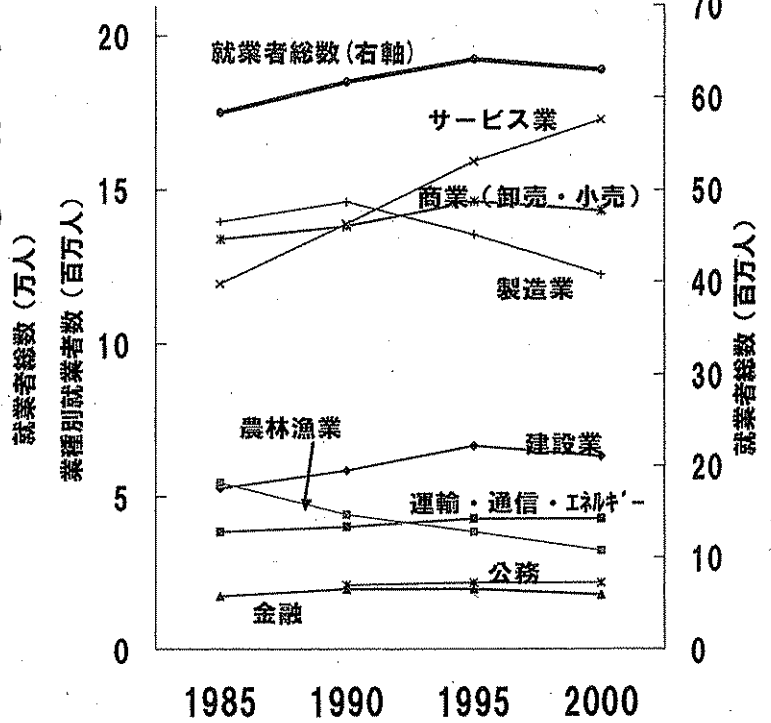
鳥取都市圏=鳥取市、国府町、福部村、河原町、用瀬町、佐治町、筑富町、鹿野町、齊谷町、岩美町、郡家町、船岡町、八東町、若桜町、智頭町
広島都市圏=広島市、府中町、海田町、呉市、大竹市、東広島市、廿日市市、熊野町、坂町、江田島町、大野町、湯来町、佐伯町、宮島町、湯美町、沖美町、加計町、豊平町、八千代町、向原町、河内町
姫路都市圏=姫路市、相生市、毫野市、高砂市、夢前町、神崎町、市川町、福崎町、香寺町、大河内町、新宮町、揖保川町、御津町、太子町、上郡町、安富町
岡山都市圏=岡山市、倉敷市、玉野市、総社市、備前市、御津町、建部町、瀬戸町、山陽町、赤坂町、熊山町、吉永町、佐伯町、和氣町、牛窓町、邑久町、長船町、難崎町、早島町、山手村、清音村、船穂町、金光町、真備町
(1995年、2000年国勢調査)

鳥取都市圏の雇用①

鳥取都市圏の就業先



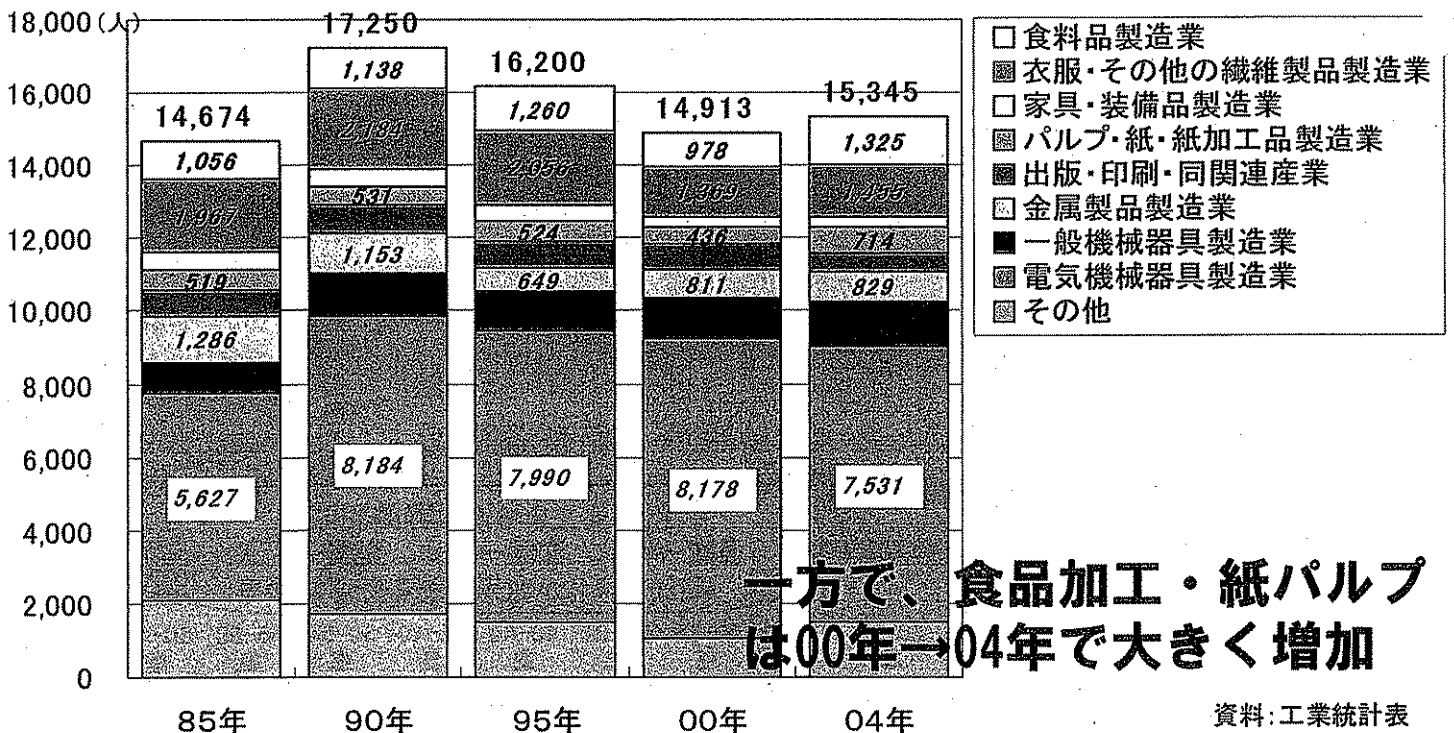
全国の就業先



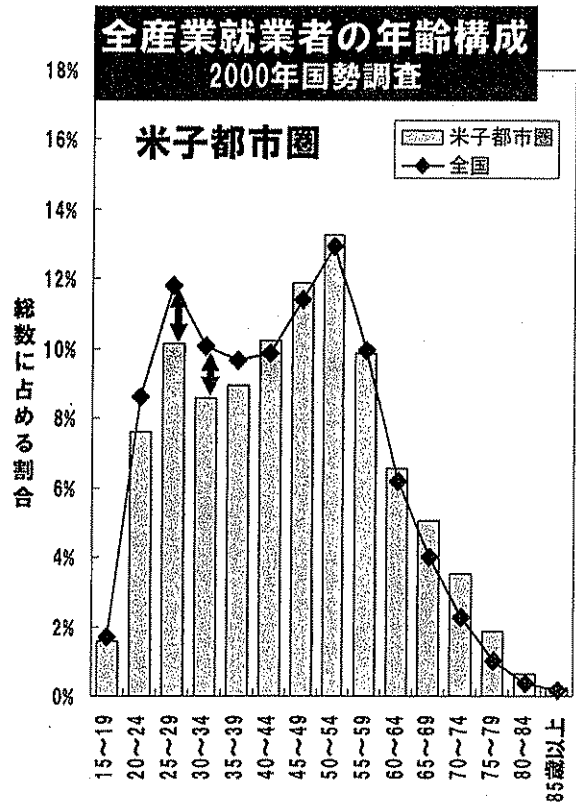
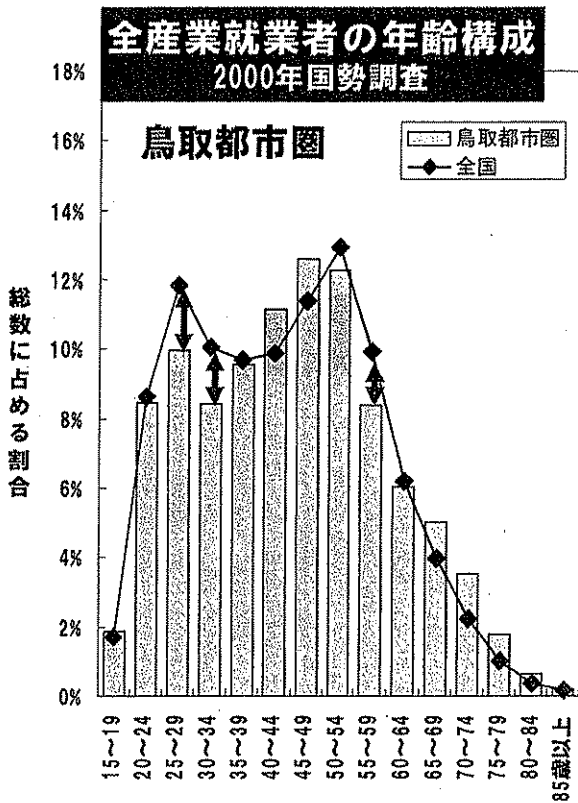
鳥取都市圏の雇用②(製造業)

ただし、この表は旧鳥取市単体のデータ

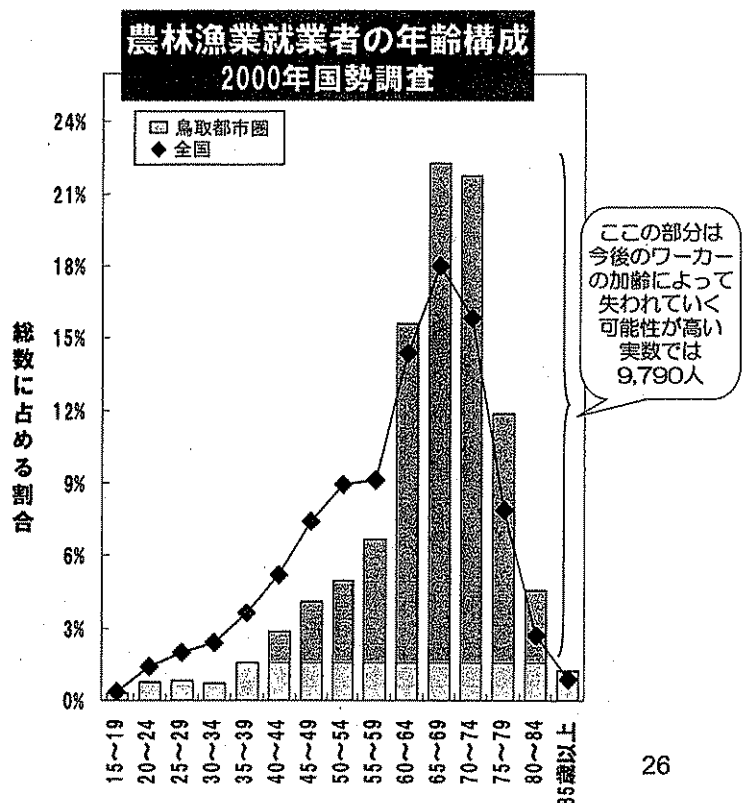
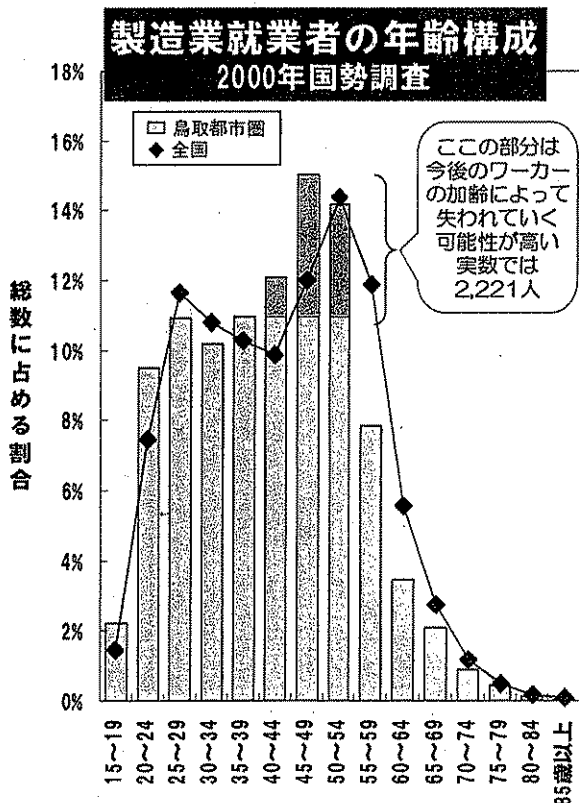
雇用減の原因は電気機械・繊維・金属の合理化



鳥取都市圏の雇用③

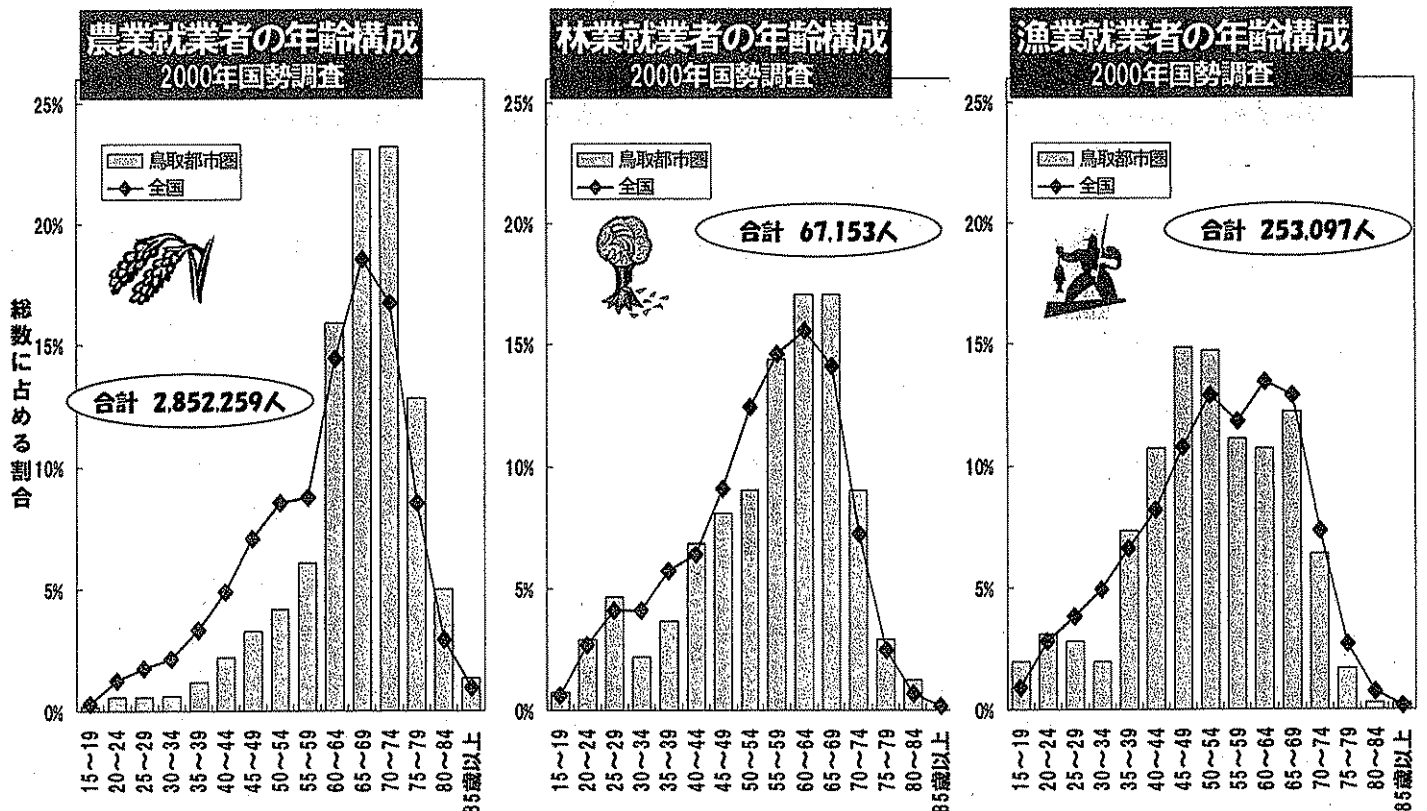


鳥取都市圏の雇用④ (製造業・農林漁業)



3. 鳥取都市圏の農業

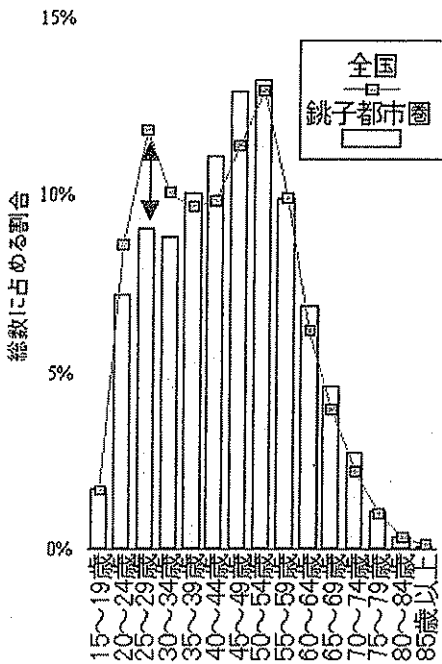
鳥取都市圏の雇用⑤ (農業・林業・漁業)



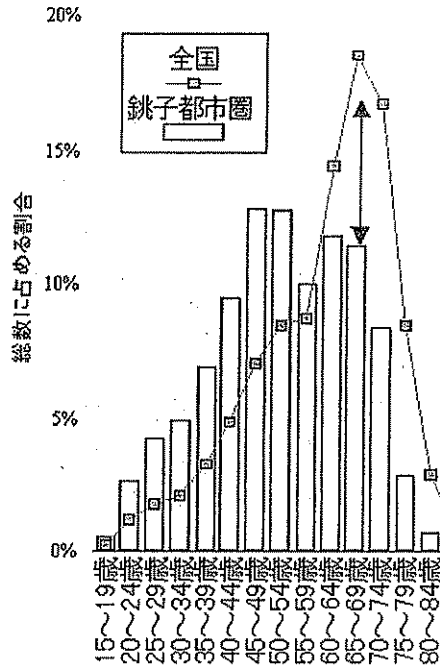
(参考) 若者雇用の不足する銚子

農業はまだ優秀だが、漁業は近い将来の激減が必至

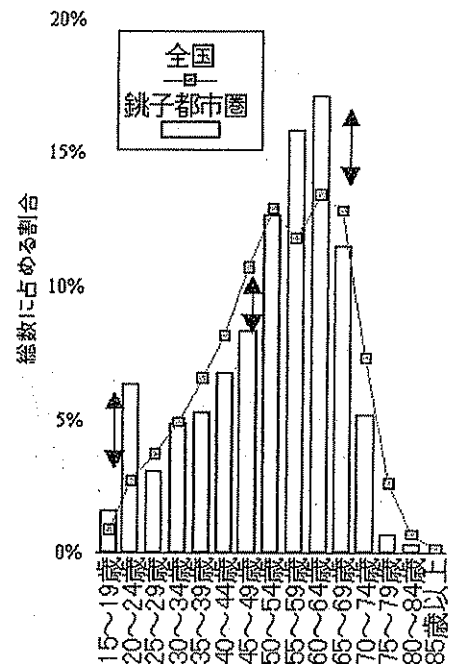
就業者(全産業)の年齢構成



農業就業者の年齢構成



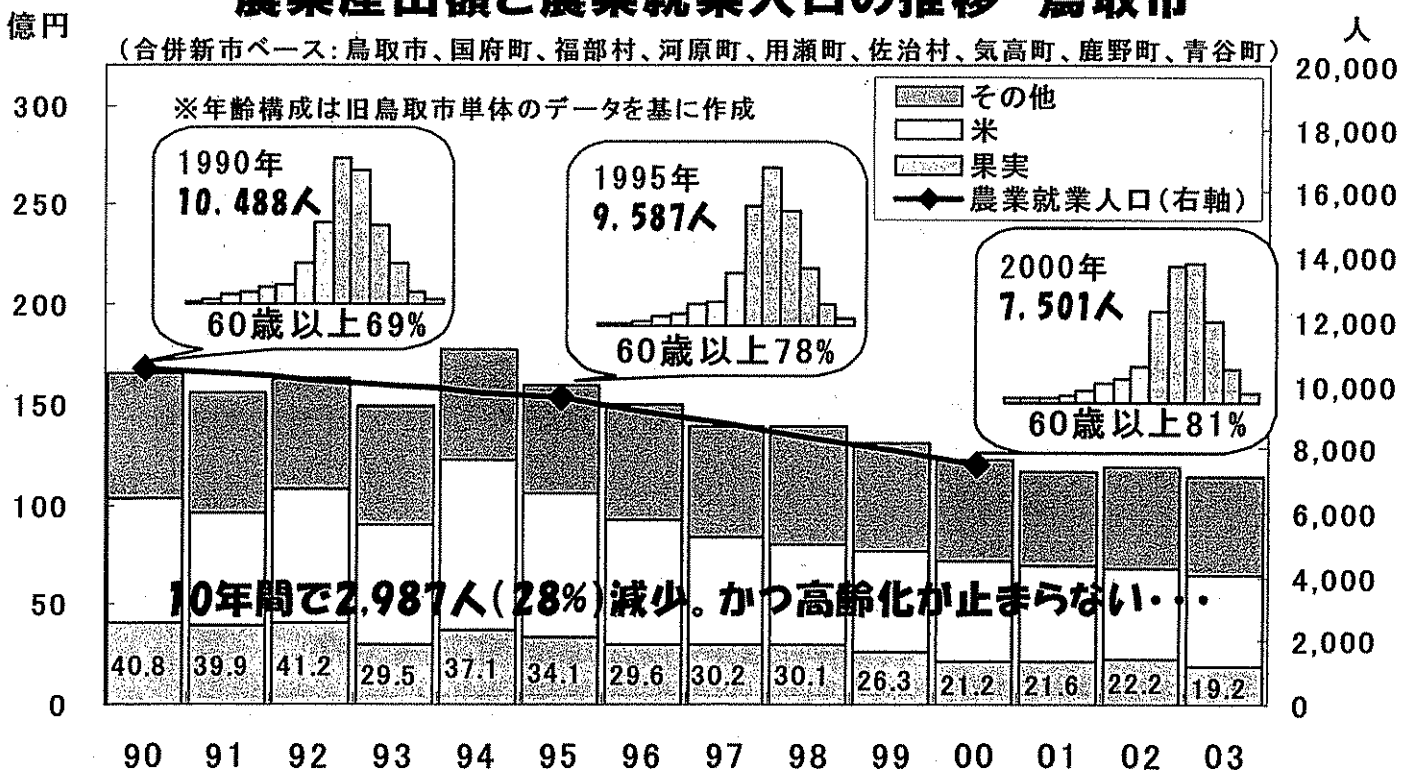
漁業就業者の年齢構成



資料：2000年国勢調査

農業産出額と就業人口①

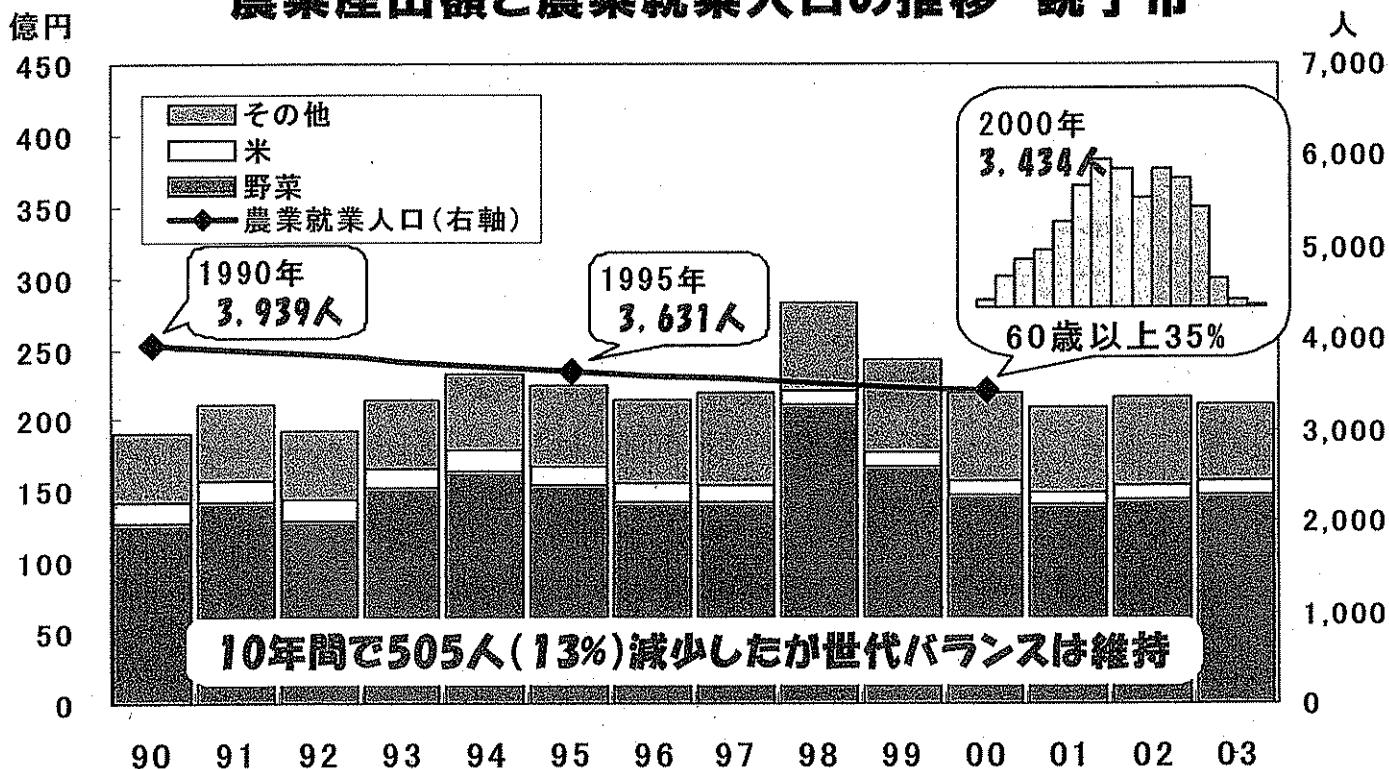
農業産出額と農業就業人口の推移 鳥取市



生産農業所得統計、国勢調査より作成

農業産出額と就業人口②

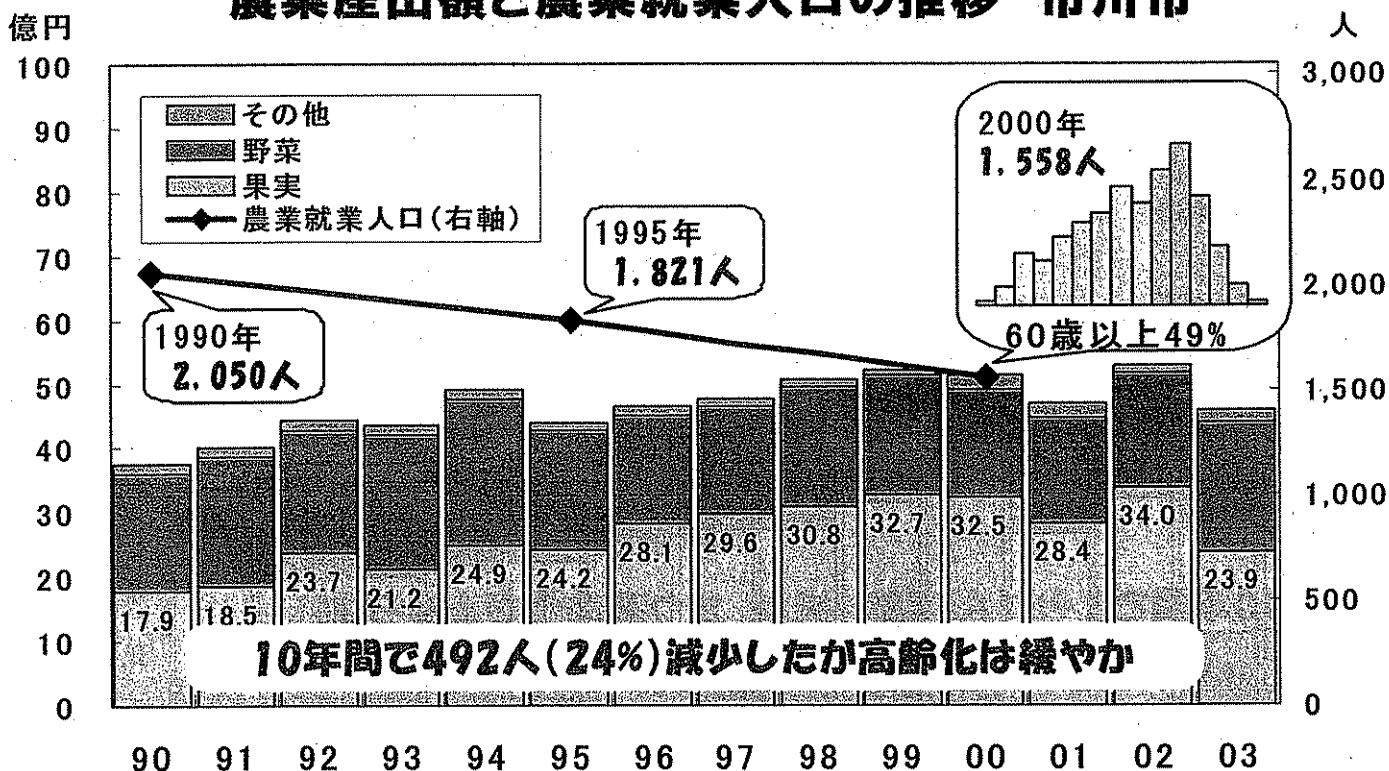
農業産出額と農業就業人口の推移 銚子市



生産農業所得統計、国勢調査より作成

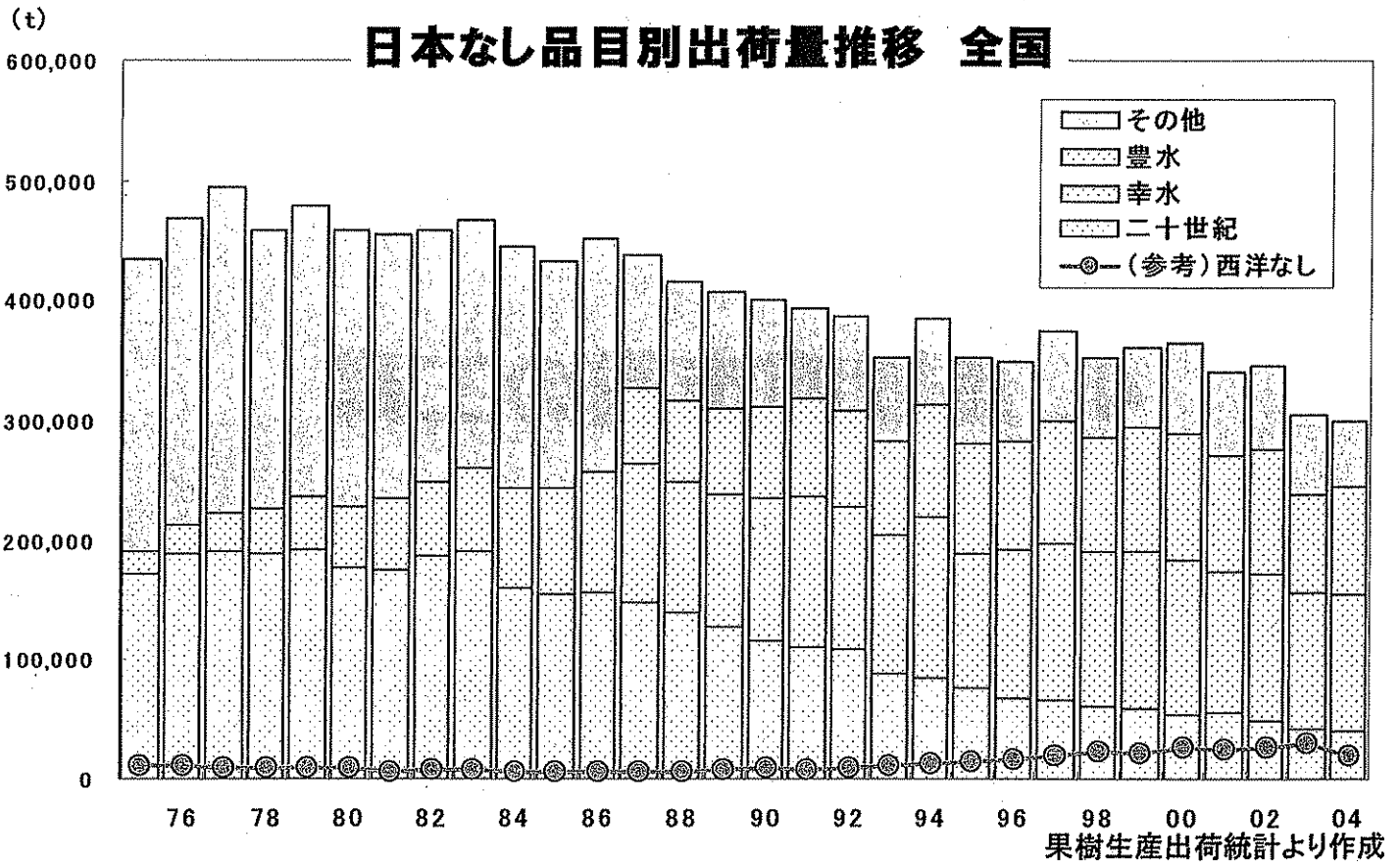
農業産出額と就業人口③

農業産出額と農業就業人口の推移 市川市

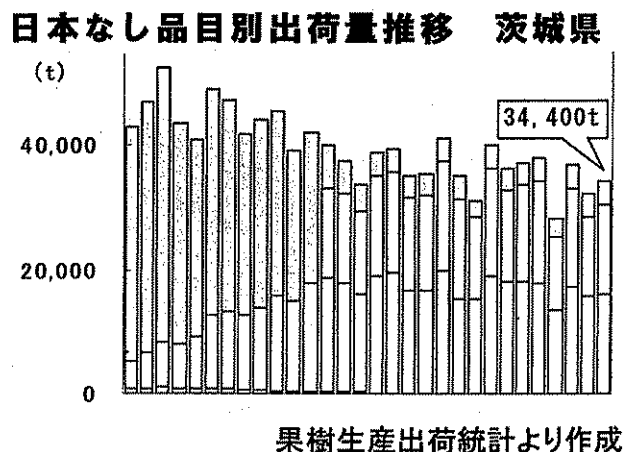
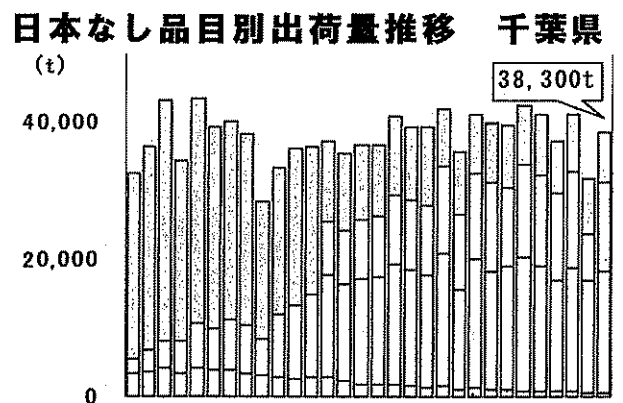
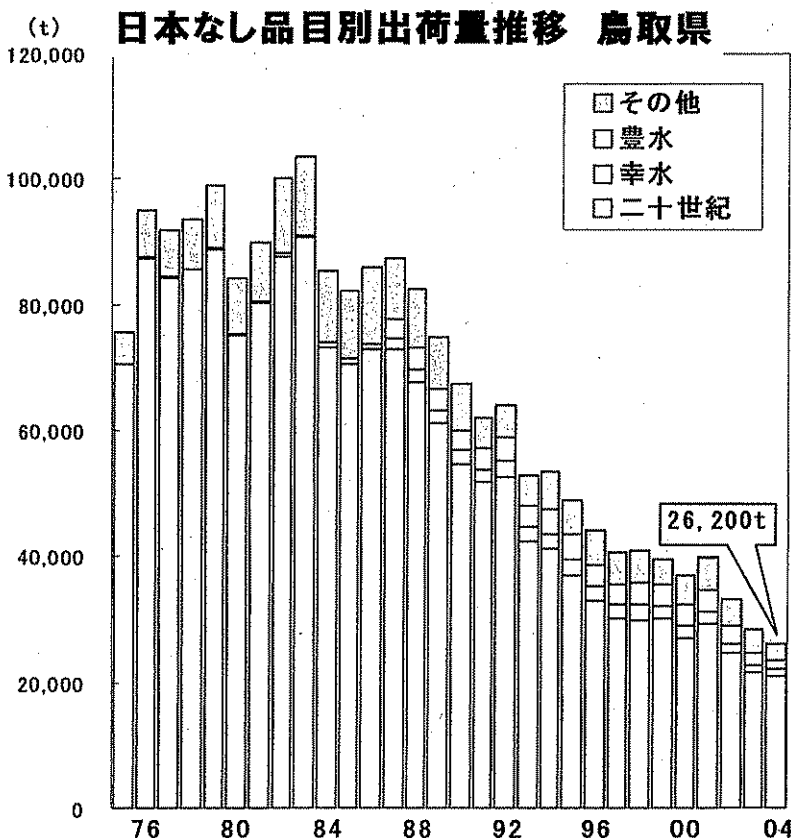


生産農業所得統計、国勢調査より作成

日本なし①



日本なし②

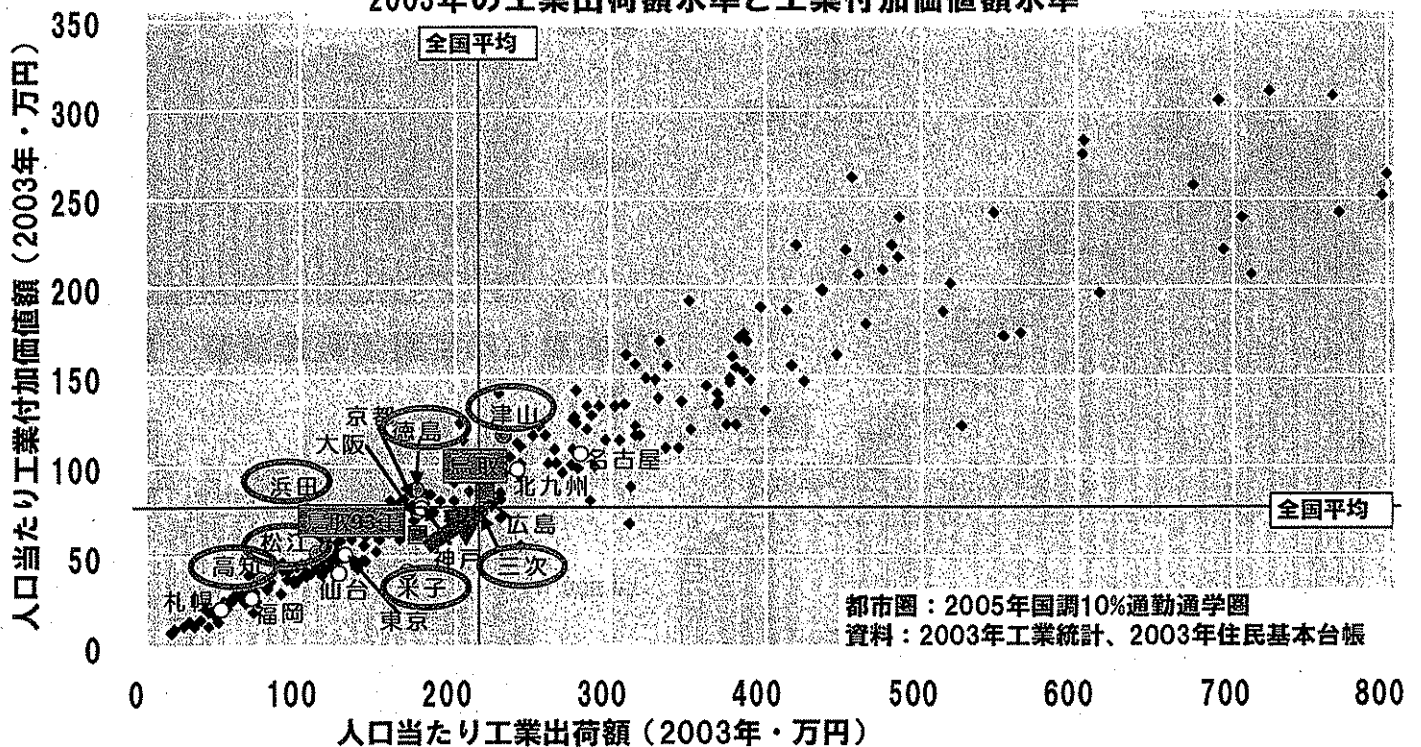


4. 鳥取都市圏の工業

鳥取都市圏の工業①

全国主要260都市圏の工業指標比較①

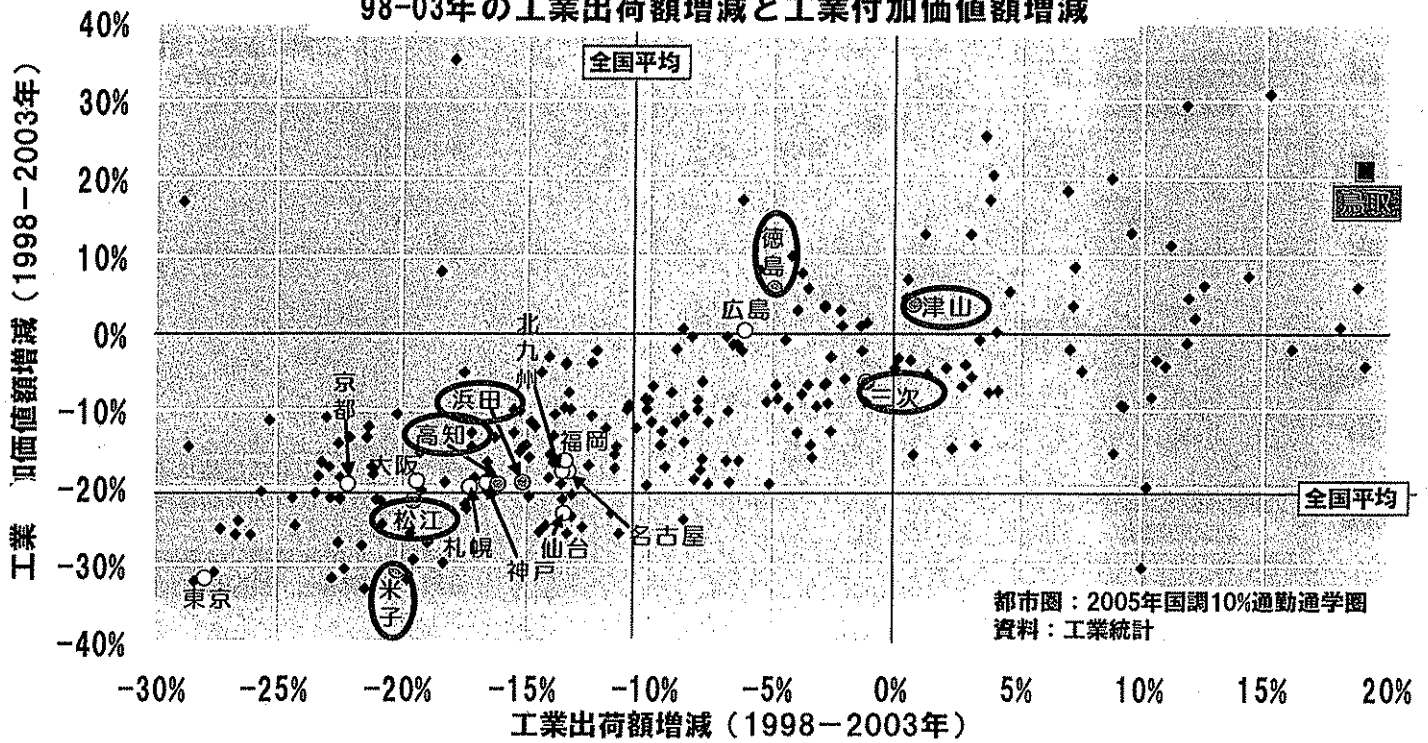
2003年の工業出荷額水準と工業付加価値額水準



鳥取都市圏の工業②

全国主要260都市圏の工業指標比較②

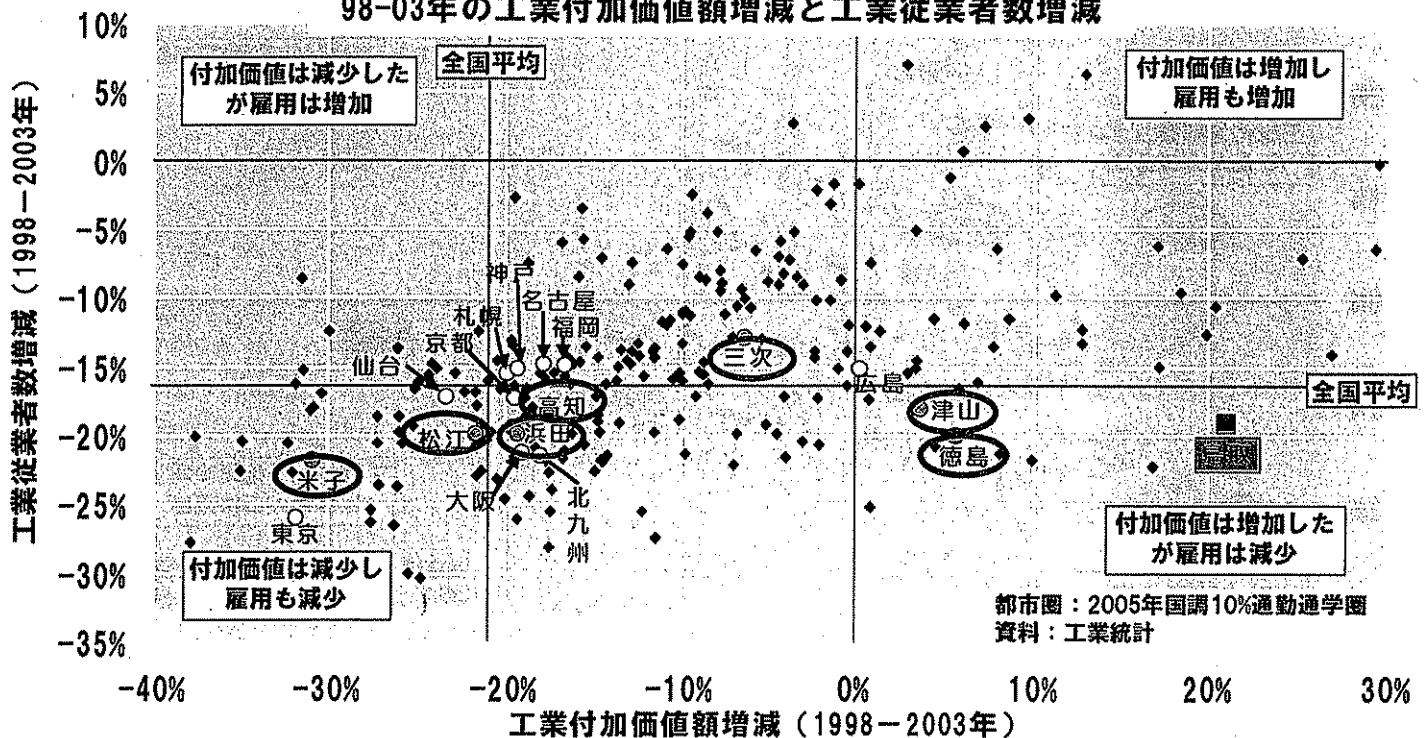
98-03年の工業出荷額増減と工業付加価値額増減



鳥取都市圏の工業③

全国主要260都市圏の工業指標比較③

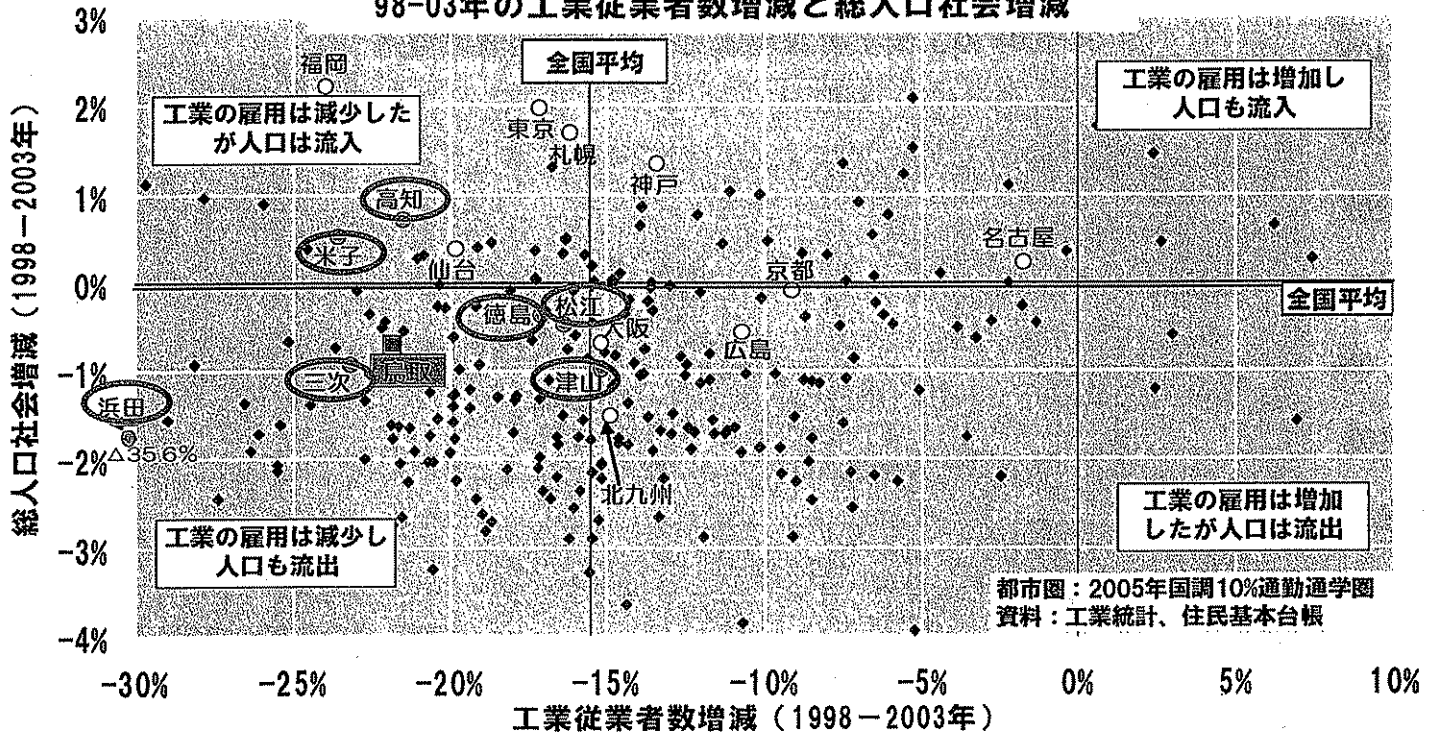
98-03年の工業付加価値額増減と工業従業者数増減



鳥取都市圏の工業④

全国主要260都市圏の工業指標比較④

98-03年の工業従業者数増減と総人口社会増減



鳥取都市圏の工業⑤

全国主要260都市圏の工業指標比較⑤

98-03年の工業付加価値額増減と総人口社会増減

